

マンガで賑わう尾道まちづくり事業

自治体情報 広島県尾道市

人口 / 145,937人 標準財政規模 / 36,184百万円

- 担当課** 企画財務部 政策企画課
- 電話番号** 直通 0848-25-7435
- 実施主体** 尾道市
- 関連ホームページ** <http://www.city.adachi.tokyo.jp/>
- 事業期間** 平成23年度から
- 関係施策分類**

予算関連データ

総事業費：500千円 (H24)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	500

施策のポイント

明るく元気な尾道の未来をテーマに1コマ・4コママンガを市民に公募。第2回展で983点/689人（前回548点/399人）の出品があり、マンガによる尾道の新しい魅力づくりが図られた。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

「文学のまち」「映画のまち」など多彩な文化的形容詞で語られる尾道。平成23年度尾道市立美術館「かわぐちかいじ展」開催を機に、マンガによる尾道の新しい魅力づくりに取り組むことでまちの賑わい創出に繋げようと、商工・文化団体らと実行委員会を立ち上げ「尾道マンガ大賞展」を企画した。初めての開催にも関わらず多くの出品と支持を得ることが出来、今後のマンガを通じたまちづくりへの発展が期待されるなか、第2回展を迎えた今年度は市が主催となって引継ぎ、実施した。

2. 取組の具体的内容

明るく元気な尾道を描いた1コマ・4コママンガを小・中学生と一般の別に公募し、一次審査を尾道市立大学教授らが、二次審査をかわぐちかいじ氏（尾道市出身マンガ作家）が務める。審査の結果による入賞作品等は、公共施設に展示するほか作品集に掲載するなど広く鑑賞の機会づくりとマンガを通じた尾道の魅力発信に努めた。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

類似の開催事例を持たない事業であったため出品点数の見込みは未知数ではあったが、多くの市民参加を期待して500点の応募を目標とした。

4. 現在までの実績・成果

第1回展548点/399人、第2回展983点/689人の出品を得ており、飛躍的に事業実績が拡大していることが客観的に評価できる。さらにかわぐちかいじ審査員からは出品点数の増加に比例して作品のレベルアップも見られたことが講評されており、本事業の有効性と今後の更なる発展が期待できる。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

出品しやすい環境づくりと公募の周知のため、募集要項の裏面に作品を描いて容易に出品できるような紙質と大きさを工夫した出品用紙を作成し、市内公共施設に配置したほか、文化関係団体や公民館サークルをはじめ市内小中学校を通じて全ての児童生徒に配布した。

6. 今後の課題と展開

マンガという身近な存在を通じて尾道をあらためて見つめ直すことでふるさとを大切に思う郷土愛の醸成に繋がることや、マンガ創作が子どもたちの豊かな想像力の発育に大きな効果が期待できることから、教育機関との連携を図りつつ、まちづくりと文化振興の双方の観点において市が主体となって継続的に開催していく。